

♪川越アコーディオンサークルたんぽぽ「春をよぶコンサート」ぶらり訪問記♪

主催 川越アコーディオンサークルたんぽぽ

日時 2010年2月28日(日)14:00 開演
会場 川越西文化会館「メルト」
交通 東武東上線「霞ヶ関」駅、徒歩10分
講師 松永勇次 / 編曲、指揮
参加費 1000円
後援 川越市教育委員会 / 川越市文化
団体連合会 / 日本アコーディオン協会

一昨年以来のコンサートとのことで楽しみにしていた方が多かったせいか、途中、司会者より「予想以上の来場者でプログラムが足りなくなりました」とお詫びの言葉がありました。450席の会場に立ち見が出る中での開幕に感心しました。他のコンサートに比べて子どもの観客が多いのも特徴です。親子で聴きに來るので集客アップにつながっているのかなと思いました。

オープニングは、ジャズアレンジの「茶色の小瓶」聞かせどころを幾人かで順に立ち、立奏するなど見せ場を作っていました。

アルコールから抜けられずにいつもお酒を入れた茶色の小瓶を持ち歩いている、そんなアルコール依存症の姿を歌った曲だとか。

親子でサークルに入っていたり、写真のように幼児を育てている姿は「たんぽぽ」の温かみを感じるところです。

途中、独奏に3曲ほど松永先生がベースパートで加わっていました。Vアコのベース

の音色が効果的でした。また、ワルツでも曲によって背景をばら色の赤だったり、緑だったり、ブルーに替えたり雰囲気を変えていました。(写真はこどもたちのワルツの演奏風景)



景 作曲:ラース・ホルム / 編曲:松永勇次、)

ゲスト「エナジーボイド」の演奏はとつものびのびとした素敵な演奏でした。ピアノ&ボーカルの方がたんぽぽのサークルでアコーディオンを習うようになったことで、仲間のバイオリン、ギター、パーカッションの方の協力も得られるようになったことは音楽の楽しみが広がり大いにプラスになったことでしょう。今回もギターやバイオリンとの組み合わせで室内管弦楽のような厚みのある素敵な演奏を聞かせてくれました。

エンディングの「キャッツ・セレクション」はメリハリのある演奏で、押さえるところ、盛り上げるところの指揮も見事です。コンサート全体を通して、皆さんリズムがしっかりしているので曲が生き生きしています。来年30周年を迎えるという歴史を感じる素敵なコンサートでした。(乙津:記)



エンディング演奏「キャッツ・セレクション」の様子

